担当	部署名	市立池田病院 事	務局 医療管理課	担当課長名	当課長名 田邊 義文		
(※) 第2期実施	重計画の事業名	医療機能	充実事業	財務会計上の事業名			
	実施計画の /事業番号	2071	1	財務会計上の	短縮番号		
	章	第2章みんなが健康で	いきいきと暮らせるま	5			
総合計画の体系	節	第7節市立池田病院を					
	項目	項目1診療機能の充実	Ę				

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

事務事業	

会計区分(会計名を記入)	□ 一般会計 □ 特別会計 () ☑ 企業会計 (病院事業)								
事 業 の 目 的 (どのような結果を得るか)	専門外来機能の充実を図り、急性期病院として実力をつける								
事業の対象 (誰を、何を)	救急・小児科並びに周産期医療等								
事業の手段・方法 (どのように)	受入体制の充実を図り、医療機能を強化								
実 施 期 間	☑ 継続(平成 23 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)								
実 施 根 拠	☑ 国・府の制度 □ 国・府の制度+市独自の制度 □ 市独自の制度								
※根拠法とその条項	医療法第1条								

0 車米書体

2 4	「業費等							-		
	区 分	27 ⁴ (決		28 ⁴ (決		29 ⁴ (決	手度 算)	30 年		H29/H28
	事業費(千円)									-
主な										-
内訳										_
	人 件 費 (人·千円)	0.07	532	0.08	592	0.10	760	0.10	780	125.0%
	正職員	0.07	532	0.08	592	0.10	760	0.10	780	125.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
内	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
訳	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
	支出合計A	532		592		760		780		128.4%
	国·府支出金									-
財	地方債									-
源	その他()									-
你	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C		532		592		760		780	128.4%
	一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%			100.0%		100.0%	100.0%
	受益者負担率 B÷A									-
	受益者負担の見直し	□ 1 実	施済 (平成	年度)		□ 2 実施予定		☑ 3 予定無		L
	上記の内容	受益者負担	旦がないため)						

<u>3 ア</u>	クトン	<u>/ーシ</u>	ング語	光仙										
	現状の	のアウ	トソーミ	ンング		1 すべて	導入済	☑ 2 -	·部導入済		□ 3 未	導入		
1又	(は20	の場合	う: 導力	人の効果	\square	コスト削減	□ サー	ビス向上	□ 事務	簡略化	□ その他	<u>h</u> ()	
		上	記の内	容	医事る。	業務は専門の	り知識と経験、実績	を有する業	者に委託して	におり、当該美	業務は効率的	り・円滑に遂行	行されてい	
今後			の場合のアウト	:: ツーシング		可能		不可能						
				可能な業務										
		見	し込まれ	る効果		コスト削減	□ サー	ビス向上	□ 事務	簡略化	□ その他	<u>h</u> ()	
			上言	己の内容										
	7 11	At a l	e 人 . 'e	24107914	241	V. 20 / 18 =	いかみそろり							
							「能な業務について	いょり ぐに得	八佾のため。	>				
4 月		達成	状況、	有効性・3	为率性	評価			l	l			- 175 6-16	
	実施 計画 区 分 内 容 目標			容	単 位	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (予定)	目標値 (H30)				
指	口饭	П	活動	☑ 成果		病床科	家働率	%	91.2	89.7	90.2	93.0	93.4	
標			活動	☑ 成果		入院平	均単価	円	56,217	55,163	58,178	59,500	54,000	
値			活動	☑ 成果		平均在	院日数	日	12.9	12.4	11.9	12.0	12.0	
胆			活動	☑ 成果		時間外救急	受入患者数	件	7,412	7,746	7,518	8,000	8,000	
		Ø	活動	□ 成果		外来診療科			21	21	23	23	21	
成果の達成状況 ✓ A 順調に推移している					推移している		L 調に推移し	ていない		C 判断で	きない			
選択の理由				L 由	C型肝炎治療薬の影響額を除いても、入院単価は増加傾向である。									
有				の有効ないるか			的である の余地がない)	∠ B &	対善の余地が	ある 🗌		りでない 的な見直しか	(火車)	
効 性 •	,	事業	は効率 できてい	的に		効率的であろ								
効率性		選	択の理	!曲	断られ	断らない救急と円滑なベットコントロールを目指す。								
評価				費の推移に て記入)	高齢	化による呼	吸器疾患の増加し	に対応する	ため、呼吸	器疾患専門	外来の充実	そ 図る。		
				当部長の	評価									
				度における し(直近)	◩	実施	平成 28 年度			□ 未実	施			
		見正	直しのP	内容	病棟	•機能再編	急性期に特化。							
			度の取		Ø	1 拡充	□ 2 現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	<u> </u>	5 その他		
		上	記の内]容	ハイ	ケアユニット	導入により、急性	期機能を強	化。					
現在	抱える	課題	ā	果題	分娩	件数の減少	` o							
と						び病棟の美装化	等により、ケ	分娩件数のは	曽加を目指	す。				
				上記の	評価を	と踏まえて	担当部長が考	える今後(平成31年	度以降)の	取組方針			
		取組	1方針		Ø	1 拡充	□ 2 現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	<u></u> 止	5 その他		
		選	択の理	L 由			(の増、病床稼働))好転が望まれる。		隣市町救急	隊の受入、	かかりつけ	医に対する	営業活動	

担当	部署名	市立池田病院	事務局総務課	担当課長名	西山 真			
(※) 第2期実施	計画の事業名	医療従事者	首確保事業	財務会計上の事業名				
	実施計画の /事業番号	2071	2	財務会計上	この短縮番号			
	章	第2章みんなが健康で	いきいきと暮らせるま	5				
総合計画の体系	節	第7節市立池田病院を拠点とした地域医療体制の充実						
	項目	項目1診療機能の充実						

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

1	事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	□ 一般会計 □ 特別会計 () ☑ 企業会計 (病院事業)								
事 業 の 目 的 (どのような結果を得るか)	助産師・看護師の適正配置により、充実した医療サービスを提供する。								
事業の対象 (誰を、何を)	助産師·看護師								
事業の手段・方法 (どのように)	助産師・看護師確保対策や修学資金貸与制度の実施								
実 施 期 間	☑ 継続(平成 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)								
実 施 根 拠	□ 国·府の制度 □ 国·府の制度+市独自の制度 ☑ 市独自の制度								
※根拠法とその条項									

2 車業費等

2 事	「業費等									
	区 分	27 ^全 (決:		28 年 (決:			年度 や算)	30 ⁴ (予	年度 算)	H29/H28
	事業費(千円)		8,539		6,521		7,920		121.5%	
主	委託料		3,408		2,417		1,888		2,000	78.1%
主な内	広告費		331		504		632		1,250	125.4%
訳	修学資金		4,800		5,400		5,400		5,400	100.0%
	人 件 費 (人・千円)	0.30	1,880	0.30	1,840	0.30	2,280	0.24	1,872	100.0%
	正職員	0.20	1,520	0.20	1,480	0.30	2,280	0.24	1,872	150.0%
	再任用短時間勤務職員	0.10	360	0.10	360		0		0	0.0%
内	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
訳	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
	支 出 合 計 A	10,419		8,361		10,200		10,522		122.0%
	国·府支出金									-
財	地方債									-
,	その他()									-
源	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C		10,419		8,361		10,200		10,522	122.0%
	一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	100.0%
	受益者負担率 B÷A									-
	受益者負担の見直し	□ 1 実	施済(平成	年度)		□ 2 3	□ 2 実施予定		☑ 3 予定無	
	上記の内容									

•		トソー		12 AT	4
.3	71/	トソー	ンン	ク辞	1M)

<u> 37</u>	<u>ウトン</u>	<u>/ーシ</u>	ング評	ド価											
	現状の	のアウ	トソーミ	ンング		1 すべ	て導入済	f	2 2 -	部導入済		□ 3 未導入			
1又	(は20	の場合	う:導力	人の効果		コスト削	减	□ サー	ビス向上	☑ 事務	簡略化	□ その他	<u>h</u> ()	
		上	記の内	容	看護師	師採用活動	めの一環で	で、就職説明	月会の企画・	実施。					
今後			の場合のアウト	:: ツーシング		□ 可能									
				可能な業務											
		見	し込まれ	る効果		□ ¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬									
			上言	己の内容											
	x ⁺ =1	(de n +	日本.23	2003年出	₩ H s	圧動の一位	転ぶり面づ	セスモル							
							かんこうひゃん	こはノリトン・	一シング 可服	三 このつか、耳	最終的には症	元軒部/ノ干	断が必要 い	めるため。	
4 月	実施	達成	状況、	有効性・ダ	办率性	評価				07 /5 55	00 /T: THE	00 / = #	20 /7: 15	口無法	
	夫 計画 目標	1	玄	分		内	3	容	単 位	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (予定)	目標値 (H30)	
指	HW		活動	☑ 成果		看記	要師人数		人	271	275	276	(1/2/	(11117)	
標			活動	☑ 成果		助政	全師人数		人	10	9	7	300	300	
値			活動	□ 成果		修学資	金貸与人	.数	人	8	6	9	9	9	
IE			活動	□ 成果											
			活動	□ 成果											
	成	果のi		沈況	Ø	A 順調	に推移し	ている	□В№	調に推移し	ていない		C 判断で	きない	
選択の理由			L 由	退職人数に対応して採用を計画的に実施できるため。											
有				の有効ないるか			効的であ (善の余地		∠ B ¢	女善の余地が	ぶある 🗌		りでない 的な見直しか	ぶ必要)	
効 性 •		事業	は効率 できてい	的に		□ A 効率的である □ C 効率的でない □ B 改善の余地がある □ C (抜本的な見直しが必要)									
効率性評価	(指植つ)	選票値や	択の理 事業費			合同就職	説明会~			等で、病院」	見学会に着				
				当部長の	評価										
				度における し(直近)	Ø	実施	平成	29 年度			□ 未実	施			
		見正	重しのP	内容	池田	市看護師	i等修学》	資金貸与条	《例施行規》	定の一部を	改定し、人社	異の精査に	努めた。		
			度の取 年度			1 拡充	Ø	2 現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	<u> </u>	5 その他		
		上	記の内	容	平成	29年度実	尾施の試	験により平	成30年度旨	当初で看護	師31名を採	発用し、人員	を確保して	いる。	
現在	抱える	課題	1	果題	看護	ないし医療	寮の質の	向上を目	指す。						
と															
				上記の記	評価を	と踏まえて	て、担当	部長が考	える今後(平成31年	度以降)の	取組方針			
		取組	L方針			1 拡充		2 現状維	持 🗸	3 縮小	□ 4 廃	<u></u> 止 🗆	5 その他		
		選	択の理	L 由	活用	することて に努めて	※魅力ある	る職場環境	6の整備を約	*続すること	秀な人材の により、見学 予想されるた	ዾ・インターン	ノシップへの)参加人数	

担当	部署名	子ども・健康部	担当課長名 井内 和希子					
(※)第2期実施	画計画の事業名	休日急病診療所運営(管理事業を含む)事 業		財務会計上の事業名		休日急病診療所 管理事業/運営事業		
	実施計画の /事業番号	2071	3	財務会計上の短縮番号		3580/3582		
	章	第2章みんなが健康で	ごいきいきと暮らせるませ	5				
総合計画の体系	節	第7節市立池田病院を拠点とした地域医療体制の充実						
	項目	項目1診療機能の充領	基					

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	☑ 一般会計 □ 特別会計() □ 企業会計()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	管理事業:休日急病診療所の施設管理 運営事業:通常の医療機関が行っていない日・祝日の診療
事業の対象 (誰を、何を)	管理事業:休日急病診療所 運営事業:池田市民他
事業の手段・方法 (どのように)	管理事業:通信運搬費、機器借上料、病院企業会計繰出金(管理経費、光熱水費、使用料) 運営事業:日曜・祝日・年末年始の診療(内科・小児科・歯科) 午前9時~午後4時
実 施 期 間	☑ 継続(平成 19 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)
実 施 根 拠	□ 国·府の制度 ☑ 国·府の制度 + 市独自の制度 □ 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市立休日急病診療所設置条例

2 事業費等

事業費(千円) 56,609 57,541 55,825 58,582 97		未复守									
ま 報償金 30,969 30,895 29,780 31,960 96		区 分									H29/H28
病院企業会計繰出金		事業費(千円)		56,609		57,541		55,825		58,582	97.0%
大学 13,682 13,703 14,002 14,207 10.2 10.2	主	報償金		30,969	30,895		29,780		31,960		96.4%
大件費 (人・千円)		病院企業会計繰出金		13,682	13,703			14,002		14,207	102.2%
正職員 1.00 7,600 1.15 8,510 1.10 8,360 1.15 8,970 95 再任用短時間勤務職員 0.20 720 0.15 540 0.30 1,140 0.30 1,170 200 位期付職員(河ルタイム) 0 0 0 0 0 0 0 非常勤職員 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	訳	医薬材料費		4,408		4,063		5,829		3,800	143.5%
再任用短時間勤務職員 0.20 720 0.15 540 0.30 1,140 0.30 1,170 200 位 担別付職員(フルタイム) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		人 件 費 (人·千円)	1.70	9,170	1.70	9,730	1.85	10,265	1.90	10,905	108.8%
円 任期付職員(フルタイム) 0 0 0 0 0 0 0 0 0		正職員	1.00	7,600	1.15	8,510	1.10	8,360	1.15	8,970	95.7%
 訳 任期付職員(短時間勤務) 取		再任用短時間勤務職員	0.20	720	0.15	540	0.30	1,140	0.30	1,170	200.0%
非常勤職員 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	内	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
 臨時的任用職員 0.50 850 0.40 680 0.45 765 0.45 765 112 支出合計A 65,779 67,271 66,090 69,487 98 国・府支出金 地方債 その他() 32,836 33,753 38,635 31,475 114 うち受益者負担B 32,836 33,753 38,635 31,475 114 一般財源 C 32,943 33,518 27,455 38,012 81 一般財源比率 C÷A 50.1% 49.8% 41.5% 54.7% 83 交益者負担の見直し 1 実施済(平成年度) 2 実施予定 3 予定無し 診療点数は国が定めている。インフルエンザ等感染症が流行しないと患者数は増加しないので受 	訳	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
支 出 合 計 A 65,779 67,271 66,090 69,487 98 国・府支出金 地方債		非常勤職員		0		0		0		0	-
国・府支出金 地方債 その他() 32,836 33,753 38,635 31,475 114 55受益者負担 B 32,836 33,753 38,635 31,475 114		臨時的任用職員	0.50	850	0.40	680	0.45	765	0.45	765	112.5%
地方債 その他() 32,836 33,753 38,635 31,475 114 55受益者負担 B 32,836 33,753 38,635 31,475 114		支 出 合 計 A		65,779	67,271		66,090		69,487		98.2%
財 その他() 32,836 33,753 38,635 31,475 114 32,836 33,753 38,635 31,475 114 32,836 33,753 38,635 31,475 114 32,836 33,753 38,635 31,475 114 32,836 33,753 38,635 31,475 114 32,836 32,943 33,518 27,455 38,012 81 32,943 33,518 27,455 38,012 81 32,943 32,943 33,518 27,455 38,012 81 32,943 32,943 32,943 32,943 32,943 32,945 32,		国·府支出金									_
での他() 32,836 33,753 38,635 31,475 114 32,836 32,836 33,753 38,635 31,475 114 32,836 33,753 38,635 31,475 114 32,836 33,753 38,635 31,475 114 32,836 33,518 27,455 38,012 81 32,943 33,518 27,455 38,012 81 32,943 33,518 27,455 38,012 81 32,943 32,943 33,518 27,455 38,012 81 32,943	肚	地方債									-
うち受益者負担 B 32,836 33,753 38,635 31,475 114 一般財源 C 32,943 33,518 27,455 38,012 81 一般財源比率 C÷A 50.1% 49.8% 41.5% 54.7% 83 受益者負担率 B÷A 49.9% 50.2% 58.5% 45.3% 116 受益者負担の見直し 1 実施済(平成 年度) 2 実施予定	,	その他()		32,836		33,753	38,635			31,475	114.5%
- 般財源比率 C÷A 50.1% 49.8% 41.5% 54.7% 83 受益者負担率 B÷A 49.9% 50.2% 58.5% 45.3% 116 受益者負担の見直し □ 1 実施済(平成 年度) □ 2 実施予定 ☑ 3 予定無し 診療点数は国が定めている。インフルエンザ等感染症が流行しないと患者数は増加しないので受	你	うち受益者負担 B		32,836		33,753		38,635		31,475	114.5%
受益者負担率 B÷A 49.9% 50.2% 58.5% 45.3% 116 受益者負担の見直し □ 1 実施済(平成 年度) □ 2 実施予定 ☑ 3 予定無し 診療点数は国が定めている。インフルエンザ等感染症が流行しないと患者数は増加しないので受		一般財源 C		32,943		33,518		27,455		38,012	81.9%
受益者負担の見直し □ 1 実施済 (平成 年度) □ 2 実施予定 □ 3 予定無し 診療点数は国が定めている。インフルエンザ等感染症が流行しないと患者数は増加しないので受		一般財源比率 C÷A		50.1%		49.8%		41.5%		54.7%	83.4%
診療点数は国が定めている。インフルエンザ等感染症が流行しないと患者数は増加しないので受		受益者負担率 B÷A		49.9%		50.2%		58.5%	45.3%		116.5%
		受益者負担の見直し	□ 1 実	施済 (平成	年度)		□ 2 実	施予定		3 予定無	L
者負担の見通しはたてられない。		上記の内容				フルエンザ	等感染症が	流行しない	と患者数は	は増加しない	いで 受益

Q	アウ	いい	>-	^/	が越	橅

3 7	<u>'ウトン</u>	<u>/ーシ</u>	ング評	'価											
	現状の	のアウ	トソーシ	ハング		1 す	べて導	入済		2 2 -	一部導入済		□ 3 未	導入	
1又	(は20	の場合	合:導ク	人の効果	Ø	コスト	削減		サー	ビス向上	□ 事務	簡略化	□ その他	<u>h</u> ()
		上	記の内	容	レント	デン技師	師を雇用	用せず日	曜祝日	は市民病院	に委託してい	る。			
今後			の場合のアウト	ソーシング		可能			Ø	不可能					
				可能な業務											
		見	し込まれ	る効果		コスト	削減		サー	ビス向上	□ 事務	簡略化	□ その他	<u>h</u> ()
			上前	己の内容											
	不可	「能のt	県会·语	おおりませ	二師会	のねー	カの元を	**日珍春	を実施)	ている巻					
						三師会の協力の元休日診療を実施している為。									
4 月			状况、	有効性・3	办率性	評価									- 177.64
	実施計画		区	分		内		容		単 位	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (予定)	目標値 (H30)
	日保		2T. 154			245 mm 5	(文書,)	· 熱水費		千円	4,547				4901
指			活動	□ 成果		官座	-					4,567	4,519	4815	
標			活動	□ 成果			電信			千円	217	221	120.0	132	230
値			活動	☑ 成果			受診者	汝		人	3,198	3,331	3,699	3185	3800
			活動	□ 成果											
			活動	□ 成果											
	成	果の	達成状	:況				移してい		_	[調に推移]			C 判断で	
		選	択の理	!由				'フルエン は変動し		で流行した。	為受診者数	は増加して	いる。診療	日数、流行9	等で受診
有効			のため なって	の有効な いるか	Ø	Α]である)余地がた	よい)	□В₫	女善の余地が	ぶある 🗌		的でない 的な見直した	ぶ必要)
性・効			は効率 できてい		Ø	А]である)余地がた	ない)	□в	女善の余地が	ぶある 🗌		的でない 的な見直した	ぶ必要)
%率性評価		票値や		由 ♂の推移に て記入)	が流行	すした!	為患者	数は360	名增力	��している。	しかしイン	tないが、昨 フルエンザの 効率的に運	流行により	患者数は変	ご動し、日
5 鹊	題と	対策	及び担	1当部長の	評価										
				度における _(直近)		実施	7	平成	年度			☑ 未実	施		
		見正	直しの内	內容											
			度の取 9年度は			1 拡	充	⊘ 2 ₹	見状維	持	3 縮小	□ 4 廃	<u> </u>	5 その他	
		上	記の内	容	国民の	り祝日	が年々	増加傾	向にあ	り、休日診	療の実施日	が増えてい	る。		
現在	抱える	5課題	11	果題	歯科0	り受診	者数が	ぶ少ない。	>						
そ	の対	策	文	寸 策	案とし	て歯科	斗の診り	療を午前	うのみと	する。歯科	医師会と協	R議する。			
				上記の	評価を	踏まれ	えて、扌	担当部县	長が考	える今後(平成31年	度以降)の	取組方針		
		取組	1方針			1 拡	充	□ 2 ⅓	見状維	持	3 縮小	□ 4 廃	<u> </u>	5 その他	
		選	択の理	!由								方内に日曜社 こするか協議			科医院が
_															

担当台	部署名	市立池田病院 事	務局 医療管理課	担当課長名		田邊 義文	
(※)第2期実施	計画の事業名	地域医療連	財務会計」	この事業名			
	実施計画の /事業番号	2072	1	財務会計上	の短縮番号		
	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち					
総合計画の体系	節	第7節市立池田病院	と拠点とした地域医療体	本制の充実			
	項目	項目2地域医療連携の	0充実				
1 東楽東巻の	Long species		※総合	計画第6章に係	系る事業は「池	也田市行財政改革推進プラン	Ⅱ」による。

1	事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	□ 一般会計 □ 特別会計 () ☑ 企業会計 (病院事業)
事 業 の 目 的 (どのような結果を得るか)	病診連携の強化・地域医療の確保
事業の対象 (誰を、何を)	地域医療機関及び市民
事業の手段・方法 (どのように)	講演会・勉強会の充実
実施期間	☑ 継続(平成 23 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)
実施根拠	☑ 国・府の制度 □ 国・府の制度+市独自の制度 □ 市独自の制度
※根拠法とその条項	医療法第4条

	F業費等 区 分	27 年度 (決算)		28 年 (決:			29 年度 (決算)		30 ⁴ (予		H29/H28
	事業費(千円)										ı
主											-
な内訳											-
				ı							-
	人 件 費 (人·千円)	0.06	456	0.06	444		0.06	456	0.06	468	100.0%
	正職員	0.06	456	0.06	444	-	0.06	456	0.06	468	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0			0		0	-
内	任期付職員(フルタイム)		0		0			0		0	-
訳	任期付職員(短時間勤務)		0		0			0		0	-
	非常勤職員		0		0			0		0	-
	臨時的任用職員		0		0			0		0	-
	支 出 合 計 A		456	I	444			456		468	102.7%
	国·府支出金										-
財	地方債										-
,	その他()										-
源	うち受益者負担 B										-
	一般財源 C		456		444			456		468	102.7%
	一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%			100.0%		100.0%	100.0%
	受益者負担率 B÷A										_
	受益者負担の見直し	□ 1 実	施済(平成	年度)			2 実	施予定	Ø	3 予定無	L .
	上記の内容	受益者負担	旦がないため)							

	ーシン		

3 /	ソトノーン	/ング評価										
	現状のアウ	カトソーシング		1 すべて	導入済		□ 2 -	一部導入済		☑ 3 未	導入	
17	スは2の場	合:導入の効果		コスト削減		サーロ	ビス向上	□ 事務	簡略化	□ その	他 ()
	上	:記の内容										
今後		3の場合:	Ø	可能			不可能					
	可能の場合	合:導入可能な業務										
	5	見込まれる効果		コスト削減		サーロ	ビス向上	事務	簡略化	□ その	他 ()
		上記の内容	参加すられる		ごス向上が期待	手でき	るが、現在	講師は当院の	の職員で対応	こしており、=	スト面では難	しいと考え
	不可能の	場合:選択の理由	546	,,								
			2.1 man 1 12									
4 万		战状况、有 効性・ 3	沙半性	評価				on he de	00 to the	as terre	00 50 50	D top (de
	実施 計画 目標	区 分		内	容		単 位	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (予定)	目標値 (H30)
指	☆ □	活動 🗸 成果		紹	 介率		%	73.2	77.2	77.5	80.0	68.0
標	☆ □	活動 🗸 成果		逆系	3介率		%	59.7	62.9	67.8	70.0	63.0
値		活動 □ 成果										
胆		活動 □ 成果										
		活動 □ 成果										
	成果の	達成状況	Ø	A 順調に	推移している		□вл	 順調に推移!	していない		<u> </u> C 判断で	きない
	選	択の理由	講演	会•勉強会	を実施するこ	とで、	病診連携	きの強化や#	地域医療の研	雀保につな	がっている。	
有		戈のための有効な となっているか	Ø		がである その余地がない	,)	ПВ	改善の余地が	ぶある □		的でない	१६ ५८ मह
効性	事業	だは効率的に		、 効率	的である			改善の余地が		。 効率	的な見直した	
· 効 率		できているか		'' (改善	多の余地がない	١)		QC = */ // / / / / / / / / / / / / / / / /		(抜本	的な見直した	60必要)
性評価	(指標値や	選択の理由 や事業費の推移に も言及して記入)			工推移し一定の が期待できる。	の成:	果はでてい	いるが、かか	りつけ医への	の働きかけ	を強化する	ことで、指
			and for									
_		及び担当部長の 対 成 29年度における		<i></i>	F. D. 00	tura potra				46		
事	業内容の)見直し(直近)		実施	平成 26 ⁴ 3介率•逆紹分		田(小コケゴ)	ァルコ、田は	日 未実		∿ 恋 ` 本 ⁄ ◇ △ □	業か, 伝 日 即
		直しの内容			善を図った。	1 42 5	安什以正	二十八月月	が恥貝が陥り	半・遅和リ	学理附云	我 世月 田
		平度の取組 19年度比)	Ø	1 拡充	□ 2 現	犬維	持	3 縮小	□ 4 廃	新 🗆	5 その他	
	Ŧ	- 記の内容			成の医療機関 る意識向上			こで病診連携	りゅう ちゅう ちゅう ちゅう ちゅう ちゅう ちゅう かいま かいま かいま かいま かいま しゅう かい	前の強化を	図るとともに	院内医師
現在	抱える課題	課題		連携のさら増加を図る	なる推進のた	め、	地域の医	寮機関からの	の紹介患者	上地域の医	療機関への	逆紹介患
7	との対策	対 策	紹介	患者と逆紹	 介患者を増 ² 識向上が必		ために、地	域の医療機	と関へのさら	なる働きか	け及び院内	医師の逆
		上記の			、担当部長7		える今後	(平成31年	度以降)の	取組方針		
	取糸			1 拡充	□ 2 現	大維:	持	3 縮小	□ 4 廃	ELL	5 その他	
			67 Lt	ومساس مباس مسيم ويبلنا	h 1 1	۰ مهمر د		= A → W/ /2	n A + 1 × 2 × 1		1 10 134/	- L 17
	選	択の理由	急性	期医療病院	完として地域 🛚	を療さ	ご埋携し、	陷介率• 運船	307 率を同士	こさせること	により増収に	こつなげ

担当	部署名	市立池田病院 事	務局 医療管理課	担当課長名	田邊 義文				
(※)第2期実施	重計画の事業名	広域医療連	携強化事業	財務会計上の事業名					
	実施計画の /事業番号	2073	1	財務会計上の)短縮番号				
	章	第2章みんなが健康で	32章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち						
総合計画の体系	節	第7節市立池田病院を	第7節市立池田病院を拠点とした地域医療体制の充実						
	項目	頁目3広域医療の充実							

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

1	事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	□ 一般会計 □ 特別会計 () ☑ 企業会計 (病院事業)
事業の目的 (どのような結果を得るか)	近隣病院や高度な医療機能を有する大学病院等の病院や特定機能病院との連携を強化する
事業の対象 (誰を、何を)	市立池田病院と他の医療機関
事業の手段・方法 (どのように)	がん治療地域連携パス(診療計画表)の活用と病院間における情報システムのネットワーク化
実 施 期 間	☑ 継続(平成 23 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)
実 施 根 拠	☑ 国・府の制度 □ 国・府の制度+市独自の制度 □ 市独自の制度
※根拠法とその条項	医療法第1条、第4条

2 車業費等

業費等									
区 分									H29/H28
	(決算)		(没算)		(決	算)	(予	算)	1123/1120
事業費(千円)									-
									-
									_
									_
人 件 費 (人・千円)	4.08	31,008	4.08	30,192	4.08	31,008	4.08	31,824	100.0%
正職員	4.08	31,008	4.08	30,192	4.08	31,008	4.08	31,824	100.0%
再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
非常勤職員		0		0		0		0	-
臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支 出 合 計 A	31,008		30,192		31,008		31,824		102.7%
国·府支出金									_
地方債									-
その他()									-
うち受益者負担 B									-
一般財源 C		31,008		30,192		31,008		31,824	102.7%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A									-
受益者負担の見直し	□ 1 実	施済(平成	年度)		□ 2 実施予定		☑ 3 予定無		L
上記の内容	受益者負担	旦がないため)						
	区 分 事業費(千円) 正職員 再任用短時間勤務職員 任期付職員(フルタイム) 任期付職員(短時間勤務) 非常勤職員 臨時的任用職員 支出合計A 国・府支出金 地方債 その他()) うち受益者負担B 一般財源に こ一般財源に率 C÷A 受益者負担率 B÷A 受益者負担の見直し	区 分 27 年 (決 事 業 費(千円) 4.08 事 業 費(千円) 4.08 正職員 4.08 再任用短時間勤務職員 任期付職員(フルタイム) 任期付職員(短時間勤務) 非常勤職員 臨時的任用職員 支 出 合 計 A 国・府支出金 地方債 その他() うち受益者負担 B 一般財源 C 一般財源比率 C÷A 受益者負担率 B÷A 受益者負担の見直し □ 1 実	区 分 27 年度 (決算) 事業費(千円) 27 年度 (決算) 本業費(千円) 4.08 31,008 正職員 4.08 31,008 再任用短時間勤務職員 0 任期付職員(短時間勤務) 0 非常勤職員 0 臨時的任用職員 0 支出合計A 31,008 国・府支出金 地方債 その他()) うち受益者負担B -般財源比率 C÷A 日の.0% 100.0% 受益者負担率 B÷A 2 受益者負担の見直し 1 実施済(平成	区 分 27 年度 (決算) 28 名 (決算) 事業費(千円) 4.08 31,008 4.08 正職員 4.08 31,008 4.08 再任用短時間勤務職員 0 任期付職員(2000年間勤務) 0 非常勤職員 0 臨時的任用職員 0 支出合計A 31,008 国・府支出金 地方債 その他() うち受益者負担B 一般財源と率 C÷A 100.0% 受益者負担率 B÷A 受益者負担の見直し 1 実施済(平成 年度)	区 分 27 年度 (決算) 事業費(千円) 28 年度 (決算) 人件費(人・千円) 4.08 31,008 4.08 30,192 正職員 4.08 31,008 4.08 30,192 再任用短時間勤務職員 0 任期付職員(短時間勤務) 0 非常勤職員 0 臨時的任用職員 0 支出合計A 31,008 30,192 国・府支出金 地方債 その他() うち受益者負担B 一般財源比率 C÷A 100.0% 100.0% 受益者負担率 B÷A 受益者負担の見直し □ 1 実施済(平成年度)	区 分 27 年度 (決算) 28 年度 (決算) 29 名 (決算) 事業費(千円) 4.08 31,008 4.08 30,192 4.08 正職員 4.08 31,008 4.08 30,192 4.08 再任用短時間勤務職員 0 0 0 0 任期付職員(短時間勤務) 0 0 0 0 非常勤職員 0 0 0 0 支出合計A 31,008 30,192 0 国・府支出金 地方債 200 0 0 大の他() うち受益者負担B 0 0 0 一般財源に率 C÷A 100.0% 100.0% 100.0% 受益者負担率 B÷A 2 2 実施済(平成 年度) 2 実	区 分 27 年度 (決算) 28 年度 (決算) 29 年度 (決算) 事業費(千円) 4.08 31,008 4.08 30,192 4.08 31,008 正職員 4.08 31,008 4.08 30,192 4.08 31,008 再任用短時間勤務職員 0 0 0 0 0 任期付職員(短時間勤務) 0 0 0 0 非常勤職員 0 0 0 0 臨時的任用職員 0 0 0 0 支出合計A 31,008 30,192 31,008 国・府支出金 地方債 その他() うち受益者負担 B 31,008 30,192 31,008 一般財源比率 C÷A 100.0% 100.0% 100.0% 受益者負担率 B÷A 2 実施予定	区 分 (決算) 27 年度 (決算) (決算) (決算) (決算) (予 事業 費(千円)	区 分 27 年度 (決算) 28 年度 (決算) 30 年度 (決算) 事業費(千円) 4.08 31,008 4.08 30,192 4.08 31,008 4.08 31,824 正職員 4.08 31,008 4.08 30,192 4.08 31,008 4.08 31,824 再任用短時間勤務職員 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

アウ			

<u>37</u>	クトン	<u>/ーシ</u>	ングア	半価										
	現状	のアウ	トソーミ	シング		1 すべ	て導入済		2 2 -	一部導入済	:	□ 3 未	導入	
13	(は2	の場合	合:導力	入の効果	Ø	コスト削液	咸] サー	ビス向上	□ 事務	修簡略化	□ その他	<u>h</u> ()
		上	記の内	容	地域	地域医療連携関係の入力業務と予約業務は委託業者で対応しコスト削減につながっている。								
今後			の場合のアウト	計: -ソーシング		可能		Ø	不可能					
				可能な業務										
		見	し込まれ	にる効果		コスト削液	咸] サー	ビス向上	□ 事務	 修簡略化	□ その他	<u>h</u> ()
			上記	紀の内容										
	7.0	reson	·····································	241の押出	구 나1	v. sodi	~_r4c+***xbr	17 01 17	-14-da17-1	当 オカハモリ				
							可能な業務	(C*)((. 12 9 C1-	事人(角の)た®),			
4 反			状況、	有効性・3	办率性	評価								
	実施計画		区	分		内	容		単 位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値
	目標		2T 46L		22.2.36	actor falls de Printer Males	° /3A ddr 91 aad s	de) or feet	16-45	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指			活動	□ 成果	かん岩		パス(診療計画		種類	_	_	_	_	
標			活動	☑ 成果			録医療機関		機関	8	8	8	8	8
値			活動	☑ 成果			於録医療機関		機関	53	53	57	57	53
			活動	☑ 成果		胃がん気	於録医療機関	1	機関	43	43	48	48	43
			活動	□ 成果										
成果の達成状況						A 順調	に推移してい	いる	∠ B J	頁調に推移	していない		C 判断で	きない
			択の理		がん			診療計画	画表)の種	質や登録医	療機関数の			
有効				の有効な いるか		□ A 有効的である □ C 有効的でない □ B 改善の余地がある □ C (抜本的な見直しが必要)								
性・			は効率 できてい			□ A 効率的である (改善の余地がない) □ B 改善の余地がある □ C 効率的でない (技本的な見直しが必要)								
効率性評価		票値や		計 費の推移に で記入)	で、ナ	本事業は、情報システムのネットワーク化やがん治療地域連携パスで広域医療を強化していくもので、大阪府がん診療拠点病院として、近隣市町のみならず広範囲の医療機関と連携するためには、 がん治療地域連携パスの種類拡大が必要。								
5 #	順と	対策	及び担	旦当部長の	評価									
平成	25年月	度~平	成29年	度におけるし(直近)		実施	平成	年度			☑ 未実	施		
		見記	直しのP	内容										
			度の即		Ø	1 拡充	<u> </u>	現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	ELL	5 その他	
			記の内		がん	冶療地域	連携パスの	内容精	査と種類扱	太大についっ	ては、医療職	を中心に進	めていく。	
現在	抱える	。 課題	Î	果題	がん	冶療地域	連携パスの	種類拡	大につい	ては関係医	療職(特に医	医師)の関与	が不可欠。	
その対策 対策 拡大						広大に必要な関係医療職との調整。								
				上記の記	評価を	と踏まえて	て、担当部	長が考	える今後	(平成31年	度以降)の	取組方針		
		取組	方針		Ø	1 拡充	<u> </u>	現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	E止 □	5 その他	
		選	択の理	里由	地域	連携パス	により、病院	と診療	所の役割分	}担が進み	、紹介・逆紹	介が活性化	ごするものと;	期待。

担当	部署名	子ども・健康部	担当課長名 山田和彦						
(※) 第2期実施	計画の事業名	広域医療	財務会計上の事業名		広域医療対策事業				
	実施計画の /事業番号	2073	2	財務会計上の短縮番号		3333			
	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち							
総合計画の体系	節	第7節市立池田病院を拠点とした地域医療体制の充実							
	項目	項目3広域医療の充実	目3広域医療の充実						

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

事務事業	

会計区分(会計名を記入)	☑ 一般会計 □ 特別会計 () □ 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市民の休日、祝日、夜間における急病や緊急時医療の対応
事業の対象 (誰を、何を)	市民
事業の手段・方法 (どのように)	豊能広域こども急病センター及び豊能地域二次救急医療対策の運営費を、池田市・豊中市・箕面市・吹田市・豊能町・能勢町の4市2町で負担する
実 施 期 間	☑ 継続(平成 16 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)
実施根拠	□ 国·府の制度 □ 国·府の制度+市独自の制度 ☑ 市独自の制度
※根拠法とその条項	豊能地域救急医療対策事業運営費補助金交付要綱

2 車業費等

Z Ŧ	「業費等									
	区 分	27 ^全 (決:		28 ⁴ (決			9 年度 (決算)	30 年 (予	年度 算)	H29/H28
	事業費(千円)		10,434		11,749		11,747		11,515	100.0%
主な	負担金	10,433			11,748		11,747		11,515	100.0%
内										-
訳										_
	人 件 費 (人·千円)	0.05	380	0.05	370	0.	05 380	0.05	390	100.0%
	正職員	0.05	380	0.05	370	0.	05 380	0.05	390	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
内	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
訳	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
	支 出 合 計 A	10,814		12,119		12,127		11,905		100.1%
	国·府支出金									-
財	地方債									-
,	その他()									-
源	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C		10,814		12,119		12,127		11,905	100.1%
	一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	100.0%
	受益者負担率 B÷A									_
	受益者負担の見直し	□ 1 実	施済 (平成	年度)		□ 2 実施予定		☑ 3 予定無1		L
	上記の内容	受益者負担	旦が無いたぬ	5						

3	アウ	トソ・	 ·/	ゲ証	価

3 /	ソトン	<u> </u>	シク 評1	四										
	現状の	のアウ	トソーシ	ング		1 すべ	て導入	斉	□ 2 -	一部導入済	:	☑ 3	未導入	
13	スは20	の場合	合:導入	の効果		コスト削液	咸	□ サー	-ビス向上	□ 事務	務簡略化	□ その	つ他 ()
		上	記の内容	ř										
今後			の場合:			可能		Ø	不可能					
			計:導入可											
		見	込まれる	5効果		コスト削液	咸	□ サー	-ビス向上	□ 事務	 所 略 化	□ その	り他 ()
			上記の	の内容										
	不可	能の地	場合:選	沢の理由	委託。	より、自主道	軍営が望	ましい						
4 -														
4 <u>A</u>	実施			有効性・ダ	<u> </u>				W 11	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値
	計画目標		区	分		内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指			活動	☑ 成果		こども急	病の患	者数	人	3,170	2,877	2,902	1,221	-
標			活動 [□ 成果										
値			活動 [□ 成果										
			活動 [□ 成果										
			活動 [」 成果										
	成:	果の	達成状況	兄	Ø	A 順調	に推移し	している	□ B /	頁調に推移	していない] C 判断	できない
			択の理問		休日				時における	医療対応を	行った			
有効			のための なってい		Ø		効的では 善の余り	かる 地がない)	В	改善の余地	がある 📗		効的でない 本的な見直	」が必要)
性・効			は効率的 できてい				率的では 善の余り	うる 地がない)	В	改善の余地	がある 🗌		率的でない 本的な見直1	」が必要)
%率性評価		票値や	択の理由 事業費の 言及して	の推移に					田市民を始 変有意義な			言う時に緊	急で対応し	てくれる医療
_				当部長の	評価									
			成29年度 見直し			実施	平成	年月	ŧ		☑ 未実	施		
		見正	直しの内	容										
			度の取締 年度比)			1 拡充	Ø	2 現状約	掛 □	3 縮小	□ 4 房	€止 □] 5 その(<u>tt</u>
		上	記の内容	?	急病	や緊急時	医療の	必要性がる	あり、その成	果を収めて	いる。			
現在	抱える	課題	課	題	毎年	患者数の	増減で	、各市町の	負担金額	こ変動がある	5.			
7	の対象	策	対	策	対応	する医師	等の人	数など、節	減に工夫を	こらして行く	ζ.			
				上記の記	評価を	と踏まえて	て、担当	台部長が 着	きえる今後	(平成31年	度以降)の	取組方針	計	
		取組	1方針			1 拡充	Ø	2 現状約	掛 📗	3 縮小	□ 4 房	€止 [] 5 その(也
		選	択の理師	Ħ	小児	救急を取	り巻く状	況や受診	者数の変化	に応じ、安	定的に継続	させてい	く必要がある	5.

		子切子不可 四、	/ I\I ALLUTB) 				
担当	部署名	市立池田病院事務	山本 朗央						
(※) 第2期実施	重計画の事業名	経営健全	財務会計上の事業名						
(※) 第2期実施計画の 分類番号/事業番号 2074 1 財務会計上の短縮番号									
章 第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち									
総合計画の体系	節	第7節市立池田病院を拠点とした地域医療体制の充実							
	項目 項目4経営の健全化								
1 事務事業の	※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。 1 事務事業の概要								

会計区分(会計名を記入)	□ 一般会計 □ 特別会計 () ☑ 企業会計 (病院事業)
事業の目的 (どのような結果を得るか)	収益の確保及び費用の削減による病院経営の健全化
事業の対象 (誰を、何を)	市立池田病院
事業の手段・方法 (どのように)	・新入院患者の増加や診療単価の引き上げなどによる収益性の向上 ・経費削減策の検討及び実施
実 施 期 間	☑ 継続(平成 23 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)
実 施 根 拠	□ 国·府の制度 □ 国·府の制度+市独自の制度 ☑ 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 項	事業費等							1		
	区 分	27 4	F度 算)	28 ⁴ (決			年度 や算)	30 ⁴ (予	H29/H28	
	事業費(千円)		-		-		-		_	
主な										-
内訳										_
	人 件 費 (人・千円)	2.01	11,276	2.01	11,044	1.65	9,575	1.55	9,200	82.1%
	正職員	1.16	8,816	1.16	8,584	1.00	7,600	0.95	7,410	86.2%
	再任用短時間勤務職員	0.10	360	0.10	360	0.10	380	0.10	390	100.0%
内	任期付職員(フルタイム)		-		-		-		_	-
訳	任期付職員(短時間勤務)	-		-		-		-	-
	非常勤職員	0.75	2,100	0.75	2,100	0.55	1,595	0.50	1,400	73.3%
	臨時的任用職員		_		-		-		-	-
	支 出 合 計 A		11,276		11,044		9,575		86.7%	
	国·府支出金									-
財	地方債								-	
,	その他()								-	
源	うち受益者負担 В								-	
	一般財源 C		11,276		11,044		9,575		86.7%	
	一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	100.0%
	受益者負担率 B÷A									-
	受益者負担の見直し	□ 1 第	施済 (平成	年度)		<u> </u>	実施予定		l	
	上記の内容									

<u>37</u>	<u> ケトン</u>	<u>/ーシ</u>	ングす	<u> 半価</u>															
現状のアウトソーシング						□ 1 すべて導入済			□ 2 一部導入済					☑ 3 未導入					
1又は2の場合:導入の効果							コスト削	減		サー	ビス向上	. [事務	簡略化		その他	<u>h</u> ()	
		上	記の内	容															
今後			の場合のアウト		ヘング		可能			Ø	不可能								
, ,			:導入																
		見	し込まれ	れる効	果	П	コスト削	減		サー	ビス向上		□ 事務	簡略化	П	その他	<u>h</u> ()	
			Fi	記の内	一	_									_				
		不可能の場合:選択の理由					経営健全化の推進は職員が主体性を持って検討し実施していくものであり、アウトソーシングには馴												
	不可	能の場	場合:道	選択の	理由	染まないと考える。													
4 页	く果の	達成	状況、	、有效	性・タ	小率性	評価												
	実施 計画		区	4	a		内		容		単位		7年度	28 年度	29	年度	30 年度	目標値	
	目標				•		der	Afr as Toke I			, ,-	-	(実績)	(実績)	(5	実績)	(予定)	(H30)	
指		□ 活動 ☑ 成果			成果	収益の確保 (繰入金、損益勘定留保資金を除く)			千円	9	,632,924	10,598,024	10,9	932,438	11,719,845	10,983,318			
標		□ 活動 ☑ 成果				費用の削減 (損益勘定留保資金を除く)			千円	10	,016,760	10,552,717	10,9	959,606	11,841,186	10,881,792			
値	☆		□ 活動 ☑ 成果 実質収支 (繰入金、損益勘定留保資金を除					を除く)	千円	_	383,836	45,307	•	27,168	▲ 121,341	101,526			
	☆		活動		成果		内部	『留保資	金		千円		179,311	324,732	3	354,678	211,368	351,731	
	□ 活動 □ 成果				成果														
	成	果の流	達成状	^大 況		☑ A 順調に推移している □ B 順調に推移していない □ C 判断できない													
	選択の理由					当年度純損益の黒字化は未達成だが、平成29年度決算では医業収支の黒字化や内部留保資金の増加といった結果が見られるため。													
有効	目的達成のための有効な 内容となっているか					□ A 有効的である □ C 有効的でない □ A (改善の余地がない) □ B 改善の余地がある □ C (抜本的な見直しが必要)													
性・効	事業は効率的に 実施できているか					□ A 効率的である □ C 効率的でない (改善の余地がない) □ B 改善の余地がある □ C (抜本的な見直しが必要)													
率性評価		選択の理由 指標値や事業費の推移に ついても言及して記入)				収益は増加しているものの、費用も同様に増加しており、収支改善のためには、さらなる収益の増加及び費用の削減が必要である。平成29年度と平成30年度は臨時的要因で実質収支が悪化している側面もあるが、診療単価の上昇による収益の増加と、人件費の抑制などによる費用の減少に努める。													
5 崑	題と	対策	及び担	且当帝	[長の	評価													
平成25年度~平成29年度における 事業内容の見直し(直近)						☑ 実施 平成 29 年度 □ 未実施													
		見正	直しのド	内容		・呼吸器内科及び呼吸器外科の標榜や循環器内科の体制充実などによる収益性の向上 ・看護師に関する給与費の見直し													
平成30年度の取組 (平成29年度比)						Ø	1 拡充		2 3	見状維	持 [] 3	縮小	□ 4 廃	ĔЩ		5 その他		
		上	記の内	內容		・診療報酬改正に伴う新たな加算項目の申請 ・医療技術職の宿日直体制の見直し													
現在抱える課題 課題						・(仮称)「川西市立総合医療センター」構想(案)の実施に伴う当院への影響 ・人件費比率の抑制													
その対策 対策						・構想(案)の具体的な内容について情報収集を行うとともに、その影響額などを把握し、対応を検討・勤務体制も含めた人件費の見直し													
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針																			
		取組	1方針			Ø	1 拡充		2 4	見状維	持 [] 3	縮小	□ 4 廃	€1L		5 その他		
選択の理由						公立病院改革の推進が求められる中、今後とも政策医療や地域医療の中核を担う病院として機能し続けるためには財政健全化が一層重要となる。 医療需要を的確に捉え、必要に応じて医療資源の集中化を図ることで、患者サービスとともに収益性も向上するものであり、経費削減とあわせ、対応していく。													